

令和元年度 「中御所保育園 自己点検評価・関係者評価」

1、令和元年度の活動目標

【園の目標】

教育方針 子どもの気持ちや育ち、遊びを大切にした保育

- 保育目標
- ・元気に友だちと遊べる子ども
 - ・話したり、聞いたりできる子ども
 - ・思いやりのある子ども
 - ・楽しく食事ができる子ども

2、評価の基準

- A <十分達成できた> 優れた（水準・内容・環境・対応）である。 3.41～
- B <概ね達成できた> 妥当な（水準・内容・環境・対応）である。 2.41～3.40
- C <あまり達成できなかった> やや不十分な（水準・内容・環境・対応）で改善を要す。 1.41～2.40
- D <ほとんど達成できなかった> 不十分な（水準・内容・環境・対応）であり一層の改善を要す。 ～1.40

※【 （自己評価） （関係者評価） （保護者評価） 】

(R02.03.31)

評価項目	自己点検評価の内容	自己評価	関係者評価
I、保育の計画性 自己評価 (A) 関係者評価(A)	1 園の建学精神、教育理念、教育方針の理解	A	A
	2 幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園教育保育要領の理解	B	B
	3 教育・保育課程の編成と評価	A	A
	4 保育計画の作成	A	A
	5 環境の構成	B	B
	6 保育と計画の評価・反省	B	B
II、保育の在り方、幼児への対応 自己評価 (A) 関係者評価(A)	1 健康と安全への配慮	A	A
	2 幼児のみとりと理解	A	A
	3 指導と関わり	A	A
	4 保育者同士の協力連携	A	A
III、保育者としての資質や能力・良識・適正 自己評価 (A) 関係者評価(A)	1 専門家としての能力・良識・義務	A	A
	2 組織の一員としての在り方	A	A
	3 まわりを感じ取る感性・アンテナ	B	B
IV、保護者への対応・守秘義務 自己評価 (A) 関係者評価(A)	1 情報の発信と受信	A	A
	2 協力と支援	A	A
	3 守秘義務の遵守	A	A
	4 対応上のマナー、良識	A	A
	5 クレームへの対処の仕方	A	A
V、地域の自然や社会とのかかわり 自己評価 (A)	1 地域の自然、人々とのかかわり	A	A
	2 小学校との連携	A	A

自己評価 (A) 関係者評価(A)	3 地域の特性を生かした保育の展開	B	B
VI、保育者の専門性に関する研修と研究への意欲・態度 自己評価 (B) 関係者評価(A)	1 研修・研究への意欲・態度	B	B
	2 保育者としての専門性に関する研修・研究	B	B
	3 遊具、教材に関する専門性の向上	A	A
	4 園内の環境に関する専門性の向上	B	B
	5 今日的課題（障害児・危機管理他）に関する専門性の向上	A	A
	6 自らを高めるための学習	B	B
VII、保育の在り方、3歳未満児への対応 自己評価 (A) 関係者評価(A)	1 健康と安全への配慮	A	A
	2 乳幼児のみとりと理解	A	A
	3 指導と援助	A	A
	4 保育者同士の協力・連携	A	A
VIII、地域における子育て支援 自己評価 (B) 関係者評価(B)	1 自園の子育て支援事業の理解	B	B
	2 環境設定	B	B
	3 支援の姿勢	A	A
	4 育児相談	B	B
	5 支援の評価・反省	B	B
IX、年間目標 自己評価 (B) 関係者評価(A)	1 目標の設定と実行	B	A
総合 自己評価 (A) 関係者評価(A)			

※134項目の評価比率

自己評価 A評価95 (71%) B評価39 (29%) C評価0 (0%) D評価0 (0%)

関係者評価 A評価98 (73%) B評価36(27%) C評価0(0%) D評価0(0%)

3、関係者評価（活動目標の達成度と成果）

I 保育の計画性

《保護者の評価》

※ 無回答を除外し、A・B・C・Dを選択した数を分母としています。

【園の教育方針】

A優れている 84% B概ね妥当だ 16% C一部改善を望む 0% D評価できない 0%

【方法・内容の成果】

A優れている 84% B概ね妥当だ 16% C一部改善を望む 0% D評価できない 0%

【施設・設備】

（※21年度に建替（改築）予定のため現在の施設については、19年度の評価はありません。）

※ 《関係者コメント》

- ・公設から継承された保育と学園の保育が効果的に融合し成果を上げる事ができた。

これにより保護者評価とともに自己評価の数値も大きく改善された。

- ・子どもの様子をよく見て育ちにあった効果的な保育計画を立案し実行している。

II 保育の在り方、幼児への対応

※ 《保護者の評価》

【幼児への対応】

A優れている 87% B概ね妥当だ 13% C一部改善を望む 0% D評価できない 0%

※ 《関係者コメント》

- ・縦割りクラスと学年クラス間で情報が共有され、どのクラス編成時でも安心して生活ができ教育成果を上げている。（学年クラスでの保育の方がやり易いとの意見もある）
- ・子どもへの対応は個々を大切に丁寧な保育が行われている。

III 保育者としての資質や能力・良識・適正

※ 《関係者コメント》

- ・保育士の使命を十分に自覚し能力・良識ともに十分な水準であり真摯に保育を行っている。
- ・経験によって培った保育技術に加え、新しい学びによりスキルの向上を図っている。

IV 保護者への対応・守秘義務

※ 《保護者の評価》

【保護者への対応】

A優れている 82% B概ね妥当だ 16% C一部改善を望む 3% D評価できない 0%

【情報の発信】

A優れている 61% B概ね妥当だ 39% C一部改善を望む 0% D評価できない 0%

※ 《関係者コメント》

- ・保護者対応は園長、主任、保育者間で方針・方法を共有して公正かつ誠実に行われている。
- ・守秘義務は規則に従い遵守している。
- ・登降園児にその日の子どもの様子を分かり易く伝えている。これにより保護者の信頼と安心を得ている。

V 地域の自然や社会との関わり

※ 《関係者コメント》

- ・散歩の際の交流は地域の方に日常的に受け入れられ、良い関係ができている。
- ・園バスを使用して活動の範囲を広げることで、さらに多くの体験ができるのでは。

VI 保育者の専門性に関する研修と研究への意欲・態度

※ 《関係者コメント》

- ・研修への参加は意欲的に行われ、受講参加者は研修内容を職員会の際に伝達講習することで一層理解を深めている。また参加できなかった職員も研修内容を知る事ができている。

VII 保育の在り方、3歳未満児への対応

※ 《関係者コメント》

- ・豊富経験な保育者により行われており、保護者の信頼も厚い。
- ・子どもへの対応は優しく、満たされ安心した様子がみられる。
- ・スキンシップにより安心を与えている。

VIII 地域における子育て支援

※ 《関係者コメント》

- ・施設が古く、受け入れ態勢は十分とは言えないが、園開放日には常に一定の参加者がある。相談には園長や主任が入所から子育てまで親身な対応をしている。

IX 年間目標の設定と達成

※ 《保護者の評価》

A優れている 84% B概ね妥当だ 16% C一部改善を望む 0% D評価できない 0%

※ 《関係者コメント》

- ・ 分かり易い目標設定で、良く実行できた。

X 園に対する満足度（総合）

※ 《保護者の評価》

A 優れている 88% B 概ね妥当だ 12% C 一部改善を望む 0% D 評価できない 0%

※ 《関係者コメント》

- ・ 概ね100%の方から高評価を頂いている。（対応が早くなった。説明が明確になった）
- ・ 私立となったことでサービスの必要性を意識するようになった。

4、令和2年度への課題

- ・ 現在の園舎での最終年度となる。保護者には仮園舎での施設の状態と環境、保育方法等を伝え、十分な理解とコンセンサスを頂くことが必要。
- ・ 子どもが環境の変化にとまどう事が無いように、園の対応計画をしっかりと準備しなければならない。

5、令和2年度の目標

- ・ 元気に友だちと遊べる子ども
- ・ 話したり、聞いたりできる子ども
- ・ 思いやりのある子ども
- ・ 楽しく食事ができる子ども